

表彰

- | | | |
|--|---|--|
| ◎ 日本消防協会定例表彰 功績章
平成31年3月5日
第2分団 副分団長 石黒 晴一 | ◎ 東京都消防協会定例表彰 功労表彰
第2分団 副分団長 鈴木 健介 | ◎ 令和元年春の叙勲 瑞宝半光章
令和元年5月24日
元第3分団 分団長 柿崎 幸夫 |
| ◎ 日本消防協会定例表彰 勤続章
平成31年3月5日
団本部 副団長 高橋 勝司
第1分団 副分団長 伊藤 隆 | ◎ 東京都消防協会定例表彰 優良表彰
第3分団 部長 金子 真也
第8分団 部長 安藤 光伸
第3分団 班長 綱川 紫
第3分団 班長 菊池 正展 | ◎ 藍綬褒章
令和元年5月30日
団本部 副団長 金子 文彦 |
| ◎ 消防庁長官表彰 永年勤続功労章
平成31年3月8日
団本部 副団長 芹澤 治 | ◎ 東京都消防協会定例表彰 優良表彰
第6分団 班長 小林 美穂
第6分団 班長 原田 圭輔 | |

◆◆ 入 団 ◆◆

- 【3月1日付】 栗田 真一郎 (第7分団)
 【5月1日付】 藤島 波 (第1分団)
 【6月1日付】 小堀 裕大 (第2分団) 黒野 巧己 (第8分団) 今野 渉輝 (第8分団)

◆◆ 退 団 ◆◆

- 【2月28日付】 提箸 照之 (第2分団)
 【3月28日付】 山田 満 (第1分団) 佐藤 由布子 (第1分団) 菊池 耕一郎 (第1分団)
 【3月31日付】 村越 義男 (団本部) 島田 嘉明 (団本部) 三瓶 一治 (団本部)
 浅野 茂 (第1分団) 長森 祐一 (第1分団) 近藤 貞雄 (第1分団)
 前田 進一 (第6分団) 渡辺 信子 (第6分団) 三原 文子 (第6分団)
 市川 昌子 (第7分団) 安藤 正之 (第8分団)
 【4月30日付】 木下 忠 (第9分団)

◆◆ 補 職 ◆◆

- 【4月1日付】
 芹澤 治 (団本部 団長) 福田 浩二 (団本部 副団長) 田原 良規 (団本部 副団長)
 野村 敏子 (団本部分団長) 磯部 宏 (第1分団 副分団長) 新井 清市 (第1分団 部長)
 末岩 優子 (第6分団 部長) 坂本 みどり (第6分団 部長) 原田 圭輔 (第6分団 部長)
 脇坂 達也 (第6分団 部長) 河津 利恵子 (第6分団 班長) 高木 弘太 (第6分団 班長)
 市川 博 (第6分団 班長) 増田 裕一 (第7分団 部長) 高橋 匠 (第7分団 班長)
 鈴木 邦彦 (第8分団 分団長) 安藤 光伸 (第8分団 副分団長) 竹村 保彦 (第8分団 副分団長)
 柳本 健一 (第8分団 部長) 木村 吏 (第8分団 部長) 矢引 達人 (第8分団 班長)
 佐藤 雅之 (第8分団 班長) 有馬 幸雄 (第9分団 分団長) 松尾 文治 (第9分団 副分団長)
 石井 直人 (第9分団 班長)



消防団員募集!

入団資格 18歳以上の健康な方
 問合せ先 杉並消防団本部 電話 3393-0119 (内線 320)

はぎなみ消防団広報 けやき

No.76

編集・発行 杉並消防団

第14代杉並消防団長に芹澤副団長就任 村越消防団長ご勇退



芹澤治新団長



本年4月1日付で田中杉並区長から消防団長の辞令を受け、伝統ある杉並消防団の第14代となる消防団長に就任しました。改めて消防団長の職責の重さを日々感じ、身の引き締まる思いであります。

今後は、355名の消防団員を束ね地域の防災リーダーとして、災害活動や警戒活動、地域住民の防災意欲を養う防災訓練や応急救護指導にと邁進する覚悟であります。

時代は平成から令和へと移り、来年は東京オリンピック・パラリンピックが開催される歴史に残る年を迎えます。

まだまだ、微力な小職ではありますが、皆様のご期待に応えるべき精進して参りますのでご支援並びにご協力をいただきますようお願い申し上げます。

「杉並消防団長退団に当たって」

私は48年間の消防団活動を平成31年3月31日をもって終了し、杉並消防団を退団致しました。私が2年間に亘り、団長の職務を全うできましたことは杉並消防署長をはじめ署員の皆様や杉並区また町会、自治会、協働団体の皆様のご協力があったからこそ成し得たものと感謝申し上げます。

また、第4方面の各団長様、東京都特別区の各団長様との交流の中で、杉並区だけでなく、各団がその地域の特性を活かし活動されていることを垣間見ることができ、大きな感動を体験し、大変感謝をしております。

今後は、芹澤団長を中心に団員が一致団結し「安全安心に住める街、杉並」をめざし活躍されることを期待しております。結びに皆様のご健勝とご多幸を祈念致しまして退団の挨拶とさせていただきます。



村越義男前団長

杉並消防団消防操法大会

優勝 第6分団

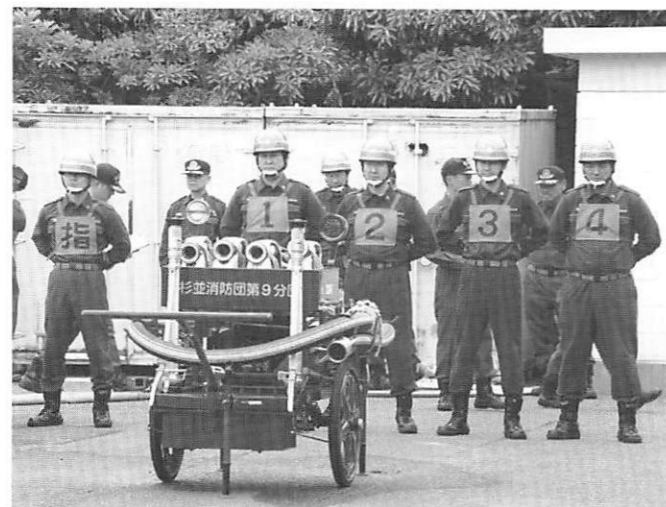
令和初の大会を制す



令和元年6月2日(日)、立正佼成会法輪閣駐車場において、杉並消防団消防操法大会が開催されました。令和の時代に入って初めての大会ということもあり、本番を迎えるにあたっては、全9個分団が優勝を目指し、仕事やプライベートの合間を縫って、昼夜問わず、訓練に励んでまいりました。結果は第6分団が優勝、第7分団が準優勝、第9分団が3位となっています。第6分団の岡本指揮者は、「今年は1番員・3番員が操法未経験者でしたが、選手の努力は勿論、分団総出の指導・支援と地域の皆様の応援で得た優勝でありました。第6分団は更に精進し、来年も優勝を目指します。」と、力強く決意を語ってくれました。この間、地域の皆様にはお騒がせをしましたが、消防団活動にご理解を頂き、感謝申し上げます。杉並消防団一同、大会を通して得た技術や経験は、必ず地域防災力の向上に生かしてまいります。



準優勝 第7分団



第3位 第9分団

第3分団新分団本部が完成しました

平成31年3月31日(日)新分団本部の完成披露会(和田3丁目37番4号)を行いました。1階が車庫兼資機材倉庫、2階が会議室となっています。車両等も順次配備される予定です。

当日は大勢の方に足を運んでいただき、ありがとうございました。今後とも消防団の活動に、ご理解とご協力をお願い申し上げます。



はたらく消防の写生会

東京消防庁では、例年春に「はたらく消防の写生会」を、管下各地域の小中学校などで行っています。

数えて第69回目となる今年、杉並消防団は、平成31年4月15日(月)より令和元年5月10日(金)にかけて行われた写生会に参加しました。

このうち第1分団では、3ヶ所に延べ10名の団員が出動、モデルとして参加しました。

目を輝かせながら、画用紙いっぱいに消防車や救急車、署団員を一生懸命描く子、また熱心に質問する子など、地域の児童たちとふれあえる絶好の機会となりました。



なお、杉並消防署管内では、参加23校2300名を超える作品の中から、優秀64点、入選115点が選ばれ、作品は8月15日(木)~8月21日(水)の期間、杉並区役所1階中央ホールにて展示、9月16日(月・祝)に明治大学和泉キャンパスにおいて表彰式が行われます。